



幕別スキー場リフト完成

町民の皆さんの保健体育の向上およびレクリエーション普及のため、町では昨年来、幕別温泉の隣接地に幕別スキー場の整備を実施しておりましたが、本年は更にスキー場を拡張するとともに、1,900万円でリフトを建設、これの無事故を祈る修抜式と竣功式を12月10日に幕別スキー場の現地と幕別温泉ホテルで開催しました。

この幕別スキー場の拡張整地工事は、昨年につづき自衛隊の部外工事として実施し、11月16日に工事引渡式を幕別温泉大広間でおこない、中山師団長から中島町長に工事完成目録が手渡されました。このようにスキー場の建設にあたっては帯広自衛隊に、たいへんお世話になっております。

広報
12

1971

まくべつ

今月の題字は米山みゆきちゃん(幕小1年)に書いていただきました

統計的にみましても、国民の体力は低下の一途をたどっているといえます。立派なスキー場が完成しましたので、町民の皆さんも冬の体力づくりのため、スキー場をおおいにご利用ください。

なお、スキーリフトの使用料金は次のように決まりましたので、お知らせいたします。

	普通券 (1回券)	回数券 (6回券)	団体券 (6回券)
大人	40円	200円	160円
中学生	40円	200円	140円
小学生	30円	150円	120円

団体券は30人以上の団体とし、団体券は日曜日および国民の祝日は使用することが出来ません。

あなたのお名前を 確かめてください

明年成人になる方のお名前

一月十五日の成人式に出席する方々のお名前を、町教育委員会でまとめたところ、暮別地区は男八十五名、女百二十五名の計二百三十九名、札内地区は男五十二名、女六十九名の計百二十一名、総計では三百三十一名となりました。

しかし、このお名前は、町の基本住民台帳から調べたため、調査洩れもあると思いますので、該当する方でお名前の洩れている方は至急、町教育委員会または支所、出張所にご連絡ください。

（本町）
森美智子 木内慶治 大上真智子
大上富子 小尾政志 滝川 登子
（幸町）
安藤弘子 神内和久 大友美千代
佐藤淳子 寺山憲活 亀山はるみ
梨木明美 中村節子
（錦町）
石川弘子 石田律子 国分よう子
山中久美 川田久子 田所エイ子

西村 栄 松本 敏 北原千恵子
横沢澄子 有沢悦子 林 加代子
藤田孝子 伊藤 俊 吉田 和子
及川健一 小尾松子 川尻 良子
奥田 仁 岡川 司
（旭町）
鎌田範子 高松慎一 松井登喜枝
吉村悦子
（新町）
大沢光示 金谷了子 斉藤紀代子
篠島広吉 泰野和江 斉藤志津子
藤田明典 山際朱美 橋浦留美子
日光重雄 林美佐子 鈴木 栄子
助川 豊 石井憲良 真鍋 兼一
高橋金吾
（寿町）
池田明子 富菜敏雄 豊田百合子
折笠文雄 木村重喜 平井恵名代
菅原裕一 西山幹雄 福島 勲
（宝町）
佐藤 昇 寺島講一 有田キミ子
野崎光男 林久美子 小野千恵子
森 峰子 斉藤美和子 北条美江子
谷地田義孝

（南町）
浅田笑子 加藤政夫 桂井恵美子
常田則子 加賀信夫 植松みどり
檜山栄作 宇佐見明子 新屋敷忠実
（緑町）
佐藤 誠 西森博史 横井恵美子
今野 忠 空 絹子 橋本 邦雄
館 計文 都田和政 前田 悦子
本間 聡 水野澄子
（寿町）
秋山信広 折笠信子 山崎美登里
平野義広 小松 誠 坂口久美子
杉本裕子 中山照雄 根本 保枝
（明野）
木藤礼子 佐々木誠 井田志津子
竹内恵子 森田 豊 小田島文之
七島ゆり子
（軍岡）
松田信子 三井美津子 折笠さち子
折笠恵美子
（新川）
西嶋清美 棚 法子 佐藤登美雄
木村はな子
（新和）
服部好子 福家すみ枝 西塚のり子
（猿別）
山中美幸 三好政徳 田中 節子
佐渡直子 末吉弘子 田中 忠秋
千葉茂喜 中島敏博 田原真寿美
桜井博義 棚恵美子
（相川）
上原峯子 合田光雄 上原のり子

藤吉雅俊 松本久子 野村美恵子
松浦寿子 森田浪子 稲上 義昭
磯部智志 逢坂裕幸 久世 義孝
中条秀子 中野麗子 黒島 猛
宮脇敏正 黒川美喜雄 森しづ子
渡辺善隆 寺井美恵子 立花俊広
（南勢）
藤原広貴 辻恵美子 千葉二美子
（茂笈谷）
志賀敏子 菅原 状
（豊岡）
松田洋子 郷 明広 佐藤 律子
（大豊）
日野洋子 南川春夫 中田美穂子
鎌田 公 北村千鶴 三田多恵子
木村康子 斉藤妙子
（美川）
有田章子 菅野勝彦 佐藤寿美夫
寺林広子
（明倫）
前川幸則 吉田 忠 酒井美枝子
柴野三郎 下 博子
（西糠内）
小田桐裕夫 杉本義昭
（糠内）
矢竹澄子 村田孝子 角りよう子
菊地雄一 中村 浩 千種由美子
砂田佳代子
（駒島）
森原栄子 山田幸子 新田 敏子
船越妙子 千丸幸子 相沢富美子
高橋忠義 河崎博美 北浦 幹男

（弘和）
千葉孝幸 斉藤富子 中村美知子
斉藤富子 菅野イネ子 長崎由美子
（中里）
本保正範 本保峰子 岩井とし子
（札内市街）
工藤孝子 佐藤佳子 久保美佐子
佐々木博 橋本孝子 池ヶ谷哲治
木村佳永 栗木洋子 金子美津子
中野光子 松橋陽子 高橋みどり
藤谷芳雄 宮嶋英子 浅井あつ子
角真理子 加藤正則 木村美樹子
武藤昭子 小林栄寿 三浦志津子
中沢弘志 藤原公俊 矢野美佐子
木戸美千栄子
（新比）
植津龍二 早川晴美 方川 洋子
山内時子 矢嶋博利
（開発）
高島良一 柳沢敏郎
（あかしや）
三井直義 沢田洋子 市村恵美子
熊川 孝 益子克枝 山角美恵子
榎本輝彦 鈴木 強 中橋 美春
所 拓行 山内清子
（豊岡）
高橋けい子 二瓶誠三
（中稲志別）
五嶋絹恵
（新生）
西尾喬之 小口隆史
（稲志別）
西川 保 松浦富子 松田美津子

〈千住〉

山川正子 池田正子 角 千枝子
土橋 務 西原良子 塚本 幸一
吉田 勉 黒島 勉 広瀬 路子
塚本裕一 長尾千春 具森美和子
高橋和之 田口美代子

〈依田〉

中橋幸二 中橋芳子

〈西和〉

土田悦子 中橋敏子 山口 和夫

〈昭和〉

長瀬敏子

〈日新〉

野畑 薫 谷友雅敏 佐々木洋子

〈上稲志別〉

石野和子 遠藤みち子

〈途別〉

安部典子 吉島昭彦 柴田 悦孝
羽賀直樹 山口康子

〈古舞〉

宇野佳子 加藤陽子 小倉千恵子
沢田 孝 佐伯則子 高橋 進
中井誠市 前川明弘 前川 明弘
五十嵐久美子 中井陽子

〈札内区〉

大山京子 矢野秀一 山内えり子
今井豊志 小椋雅樹 世良田裕子
外崎 清 吉川泰子

〈春日〉

池浦範夫 鈴木邦子 高岡 光男
中村政信 山崎優子

〈北一〉

石井誠市 高住広子 千葉 和枝

平井敏明 渡部秀子

〈北二〉

小坂広満 鈴木朝子 立花 勝也

〈北三〉

沢田雅樹 島勝春美 小野田則子
山口節子 高木啓子 飛田 育子
中村博子 長沼悦子

小学校入学予定者のお名前

明年四月に小学校に入学を予定
されている方のお名前は次の通り
で、対象者は昭和四十年四月二日
から四十一年四月一日までに生れ
た方となっています。

この名簿に誤りや脱落が発見し
たときは、教育委員会が役場支所
出張所にお申し出ください。
なお、一月中に新入学児童の健
康診断を予定しておりますので、
その際は忘れずに受診ください。

幕別小学校
石黒将稔 宮下幸穂 高橋 晴美
秋葉紀子 植竹修治 高桑 広次
木藤尚人 佐藤祐二 竹田 幸子
松島昌良 本木典昭 高木 静子
細田 勝 三好昭美 牛尾 秀康
三好 誠 笹井典子 綱島 美栄
岩崎智子 亀山和美 高橋 信吾
山岸啓也 小沢康文 花井由紀子
小沢康輝 角田博文 山本真理子
早瀬 実 金谷寿生 関谷 育代
平出豊子 桐原広光 土井あゆみ
土井 豊 椀本富子 中崎 弘樹
加賀田誠 田中千秋 野口 昌美
松井義和 綱島 力 福島得美子
辻 直美 堀口 修 堀口もと子

戸田智子 稲葉珠樹 本田抄斗子
大石久代 神田和郎 千葉広之伸
駒野和夫 佐藤 豪 井上真知子
内藤 茂 松本 学 菊野あゆみ
三原豊司 宮島 仁 宮本美恵子
杉山利明 中村和子 渡部己弥子
高倉博士 守山 強 大下ゆかり
竹内明美 渡辺 勲 宗広真由美
香川弘幸 蔵野泰裕 飛永みゆき
本永敬久 岡坂和春 東山みどり
岡村勝吉 木村士郎 森谷喜代司
小山栄子 七条 薫
白人小学校

伊多裕子 植田香澄 細谷地晴美
夏井りえ 夏井りか 中高 和範
西川 聡 宗内 剛 鈴木 幸子
佐藤克子 芹沢 薫 赤塚 誠宏
入倉優史 井上俊彦 井上 広美
鎌田佳子 片山明美 栗木 直美

栗林淳子 白山勝敏 浜名美由起 松田幸則
大野美雪 高田善之 上鹿渡由美 西猿別小学校
時田 充 浦田理賀 中橋 進一 大内田司 及川 秀 山中 敏則
野原隆宏 長谷裕二 山口まゆみ 大豊小学校
村上 清 飯山智穂 加藤まゆみ 今井勝男 島田広幸 河合 雅史
有働祥子 長内 繁 脇坂ゆかり 新川小学校
黒地博樹 沢野克也 小村ゆかり 八十島俊英 美川小学校
城石 徹

中山紀幸 西尾 修 中山真寿美
中島伸一 前田千香 沢谷みどり
今野博章 藤内俊幸 海津 光代
永田 透 高橋正昭 加藤 昭二
鈴木淳人 高島 学 伊藤優紀子
土門 佳 麓 尚行 尾崎 義明
岩上 忍 石塚 徹 帯川 宏幸
大橋 拓 菅野雅之 中村ひづる

片山聡美 高橋博美 大橋由美子
永原光浩 村田律雄 橋本みゆき
美濃寛士 宗像哲行 徳野美紀子
長谷川和美 上田ゆかり 飯塚美
千代

豊岡小学校
林ゆかり 三好ひろみ
佐藤春江 守護康浩 深松 慈美
山田泰正

貝森耕司 佐藤哲也 西沢 正子
池内義一 栗原栄樹 工藤 礼子
中寺雅美 中寺一也 若林めぐみ
山根直己 岩田 緑 大西ゆかり
小尾睦美 関口愛子 加藤ひろ子
高橋勝吉 飛田昌宏 高田美由起
中山雅幸 藤原博美 尾藤真由美
藤田雅彦 松村美樹 福島美由紀
中村博明 北村千聡 花本美喜江
栗林淳子 白山勝敏 浜名美由起 松田幸則
大野美雪 高田善之 上鹿渡由美 西猿別小学校
時田 充 浦田理賀 中橋 進一 大内田司 及川 秀 山中 敏則
野原隆宏 長谷裕二 山口まゆみ 大豊小学校
村上 清 飯山智穂 加藤まゆみ 今井勝男 島田広幸 河合 雅史
有働祥子 長内 繁 脇坂ゆかり 新川小学校
黒地博樹 沢野克也 小村ゆかり 八十島俊英 美川小学校
城石 徹

林 志摩 三谷裕美 福井真知子 佐々木範征 助川小百合 稗田秀
村岡克己 渡辺 好 木戸亜津子 和
貝森耕司 佐藤哲也 西沢 正子 古舞小学校
池内義一 栗原栄樹 工藤 礼子 高橋理佳 石野裕美 杉本ゆかり
中寺雅美 中寺一也 若林めぐみ 茨木寛普 加地 靖 中村みどり
山根直己 岩田 緑 大西ゆかり 相川小学校
小尾睦美 関口愛子 加藤ひろ子 合田隆俊 上田雅治 高井三樹子
高橋勝吉 飛田昌宏 高田美由起 横田康裕 草森淳子 坂口さゆり
中山雅幸 藤原博美 尾藤真由美 松浦王紀 相沢ゆかり
藤田雅彦 松村美樹 福島美由紀 明倫小学校
中村博明 北村千聡 花本美喜江 穴戸義仁 橋詰晃子 松岡 孝優
栗林淳子 白山勝敏 浜名美由起 松田幸則

大野美雪 高田善之 上鹿渡由美 西猿別小学校
時田 充 浦田理賀 中橋 進一 大内田司 及川 秀 山中 敏則
野原隆宏 長谷裕二 山口まゆみ 大豊小学校
村上 清 飯山智穂 加藤まゆみ 今井勝男 島田広幸 河合 雅史
有働祥子 長内 繁 脇坂ゆかり 新川小学校
黒地博樹 沢野克也 小村ゆかり 八十島俊英 美川小学校
城石 徹

加賀田誠 田中千秋 野口 昌美
松井義和 綱島 力 福島得美子
辻 直美 堀口 修 堀口もと子

岩上 忍 石塚 徹 帯川 宏幸
大橋 拓 菅野雅之 中村ひづる

山口一浩 中井 等 高橋奈穂美
林 盛裕 設楽和滋 一原あけみ

遂別小学校

駒島線に町営バスを運行

マイクロバスで1日に2往復

定期バスの廃止で交通に不便をきたしている南幕別地区の方々のために、町では糠内市街～中里～駒島市街を結ぶ駒島線に、この二

ます。
運行するバスは町のマイクロバスで、一日に二往復しています。運賃、時刻表は次の通りです。

運賃
 ■糠内～五位間 40円
 ■糠内～中里間 70円
 ■糠内～観音橋間 90円
 ■糠内～駒島間 120円
 ■五位～中里間 50円
 ■五位～観音橋間 70円
 ■五位～駒島間 60円
 ■観音橋～駒島間 40円
 ■中里～駒島間 60円

町営バス運行時刻表

17.05	9.00	糠内↑ 五位 中里 観音橋 駒島↓	9.45	17.40
17.08	9.03		9.42	17.37
17.13	9.08		9.37	17.32
17.16	9.11		9.34	17.29
17.20	9.15		9.30	17.25



三百八十七戸が稼働 救農土木事業 五十七カ所で実施

冷害のため、大きく減収をきたした方々に現金収入の途を講ずるため、道委託事業および町委託事業による救農土木事業が、町内各地で実施されました。

この救農土木事業に稼働した方は三百八十七戸で、何れも三〇%以上（開拓農家の場合）と五〇%以上（一般農家の場合）の被害をうけた農家を対象としました。工事は明野二十四号線

など五十五号線の側溝整備と相川五線排水など二か所の明渠排水凌せつを実施しました。

これらの総事業費は三千二百七十六万二千円、うち三千万円が労賃として稼働した方々に支払われ、被害を受けた農家の方々は、

町税・国保税を減免

最高十割
最低二割

十一月十八日に開かれた臨時第六回町議会で、冷害などで被害を受けは方々にたいする町税の減免および国民健康保険税の減免率がままりました。

百十万円以下の者 六割
百五十万円以下の者 四割
百五十万円以上の者 二割

交通遺児に奨学金

財団法人交通遺児育英会では、保護者などが道路における交通事故で死亡したり、負傷のため働けなくなった家庭で進学が経済的に困難である生徒にたいし奨学金を貸与しております。

出願時期はいつでもよく、月五千円を正規の卒業期までの間支給されることになっております。くわしい内容は役場企画課防災係におたずねください。

森組の事務所移転

今まで役場庁舎内で事務をとっていましたが、森林組合は、指導の面その他について、より充実したものとすため、十二月一日から農業改良普及所内（旧公民館）に転移しましたのでお知らせいたします。

期待される過湿地帯の解消

懸案の 国営かんがい事業 着手

受益面積は三千二百ハク

駒島、弘和、中里地区の国営パイロット事業など、生産性の低い地帯の農用地開発事業が、町内各地ですすめられておりますが、本年は、これまた懸案であった国営かんがい茂発谷地区直轄明渠排水事業が着手されることになり、昨年着手した国営かんがい古舞地区直轄明渠排水事業とあわせて、十二月七日に、西猿別小学校裏の現地で修祓式を開催しました。

古舞および茂発谷地区で実施される事業の内容は次の通りとなっております。

古舞地区 古舞地区の工事は本町関係のほか帯広市関係の分も含まれ、昨年度から着手し、四十九年度で完成予定のもとに事業が実施されています。

この事業は、延長九千七百以上の古舞幹線排水路を設け、過湿地帯の解消を目的としており、すでに千六百以上が完成しております。

一部分が完成した
古舞幹線排水路

工事費の総額は四億七千六百万円で、延長九千七百以上に三十六か所の落差を設けて途別川と結ぶほか、巾員三以上から四・五以上の橋梁を十四か所設けることになっております。

また、この排水路の完成によって二千四百十畝という広い面積の水を集める計算になり、この結果古舞(千四百七十五畝)、帯広市(三百六十三畝)の合計千四百七

相川地区「母と子の家」が落成

相川地区「母と子の家」の落成式が十二月十日に新築なった母子の家で開催されました。

相川地区は五つの行政区にわかれ戸数は百七十戸ありますが、幕別市街に近いため公共施設、特に大きな集会場がなく、昭和四十三年ころから会館建設の声があがっておりまして。

町では、地区住民の要望に応え



茂発谷の現地での起工のクワ入れをおこなう中島町長

網は、まったく整備されていないため、洪水のときには河道の変動欠壊は珍らしくなく、その都度、農作物は被害を受けていました。

工事は本年度から五十一年度までの六カ年計画で一万二千五百八十以上の茂発谷幹線排水路を総事業費六億七千七百万円で実施します

幹線排水路の構造は土水路で、五十二カ所に落差を設け、猿別川に落すことになっており、この間十五カ所の橋梁工事も実施します

この排水路完成によって利益を受ける面積は千七百四十八畝

なお、各幹線排水路が完成のうちに開拓パイロット事業で支線排水路を受けるよう計画されていきます。

るべく道と話しあいをおこない、本年になって補助獲得に成功、九月二十九日に着手し、十二月十日に落成したものです。

なお、総工費四百七十七万五千元は道費補助と町費、それに地元の方々が負担しております。

建物は木造モルタル造り平屋建てで面積は百六十九・二七平方メートル、内部は遊戯室、研修室、相談室、図書室、調理室その他からなり、今後は乳幼児の保育、などに多角的に利用されることでしょう。

完成した母と子の家全景



解放された水汲み

明倫簡易水道 喜びびの通水式を開催

明倫、古舞、それに美川、帯広市桜木町の一部を給水区域とする明倫簡易水道の通水式が十二月十一日に美川低台地に建設した浄水場で神式によっておこなわれ、のち中島町長が始動のスイッチを押

し、各種の機械は力強く動きはじめました。

この地区は、例年十一月になるとポンプ井戸の水量は低下し、冬期間の飼料水は付近を流れる川からくみあげるのを例とし、飼料水はもとより家畜の水を確保するのが最大の悩みで、早くから水道の敷設が望まれていました。

始動のスイッチを押す中島町長



昭和三十九年、簡易水道を計画しましたが、大冷害のため中止のやむなきにいたり、昭和四十四年に再度計画し申請、翌四十五年三月の認可を待って同年八月に着手し、総工費九千二十八万円を投入し、二カ年間で完成したものです。

なお、喜びびの竣功式は糠内消防

防庁舎大広間に、内外の来賓および受益者多数が参加して開かれ、席上、明倫および古舞地区の水道建設促進期成会役員に、中島町長から感謝状と記念品を贈りその労をねぎらいました。



川からの水汲み風景はもうみられないでしょう

15歳になった赤ちゃんクラブ

記念式を開く

幕別町赤ちゃんクラブの創立十五周年記念式が、十一月三十日に町民会館にクラブ会員百五十余名が出席して開かれましたが、当日は「おやつショー」「手芸作品展示会」「衛生展示会」「演芸会」など盛り沢山の行事を用意し、賑わいました。

町赤ちゃんクラブ

の前身は昭和三十一年三月に九名のお母さん方により止若赤ちゃんクラブを設立したのがはじまり。

その後、駒島、古舞、札内、日新、新和、美川、糠内、明倫、途別、中里と、昭和三十八年四月までに全町に赤ちゃんクラブが設立されたため、横の連絡を密にする

意味から、この年、各クラブを統合し、幕別町赤ちゃんクラブが発足し、現在にいたっております。

この間、指導医師の適切な助言と各お母さん方の育児にたいする熱意の結果、全道乳幼児コンクールに毎年のように十勝代表として出場、全道一が三名、準北海道一に四名が入選し表彰されるなど、幕別町赤ちゃんクラブの活動成果は全道から注目されております。

農業講習所生募集

なお、式典の席上、昭和四十六年度健康優良乳幼児その他の表彰がおこなわれました。

〈町長感謝状〉

永年にわたって指導医師として功績のあつた方

景山倫夫、塚田正、松島三木男 勝山繁

〈クラブ会長表彰〉

永年にわたり指導保健婦として功績のあつた方

満の男女。

・出願手続き 昭和四十七年一月三十日までに願書を町長あて提出ください。

■研究生 研究生には畜産コースと農業機械コースがあります。

・応募資格 道立農業講習所第一一部の課程を修了したもの、または高等学校を卒業（卒業見込みも含む）したもの。これと同等以上の実力があると認められたもの。

・経費 講習期間中はすべて寮に寄宿し、寮費は月八千円程度。また講習所から月千円が支給されます。

なお、出願書類は普及所に用意されています。

■第一部生 ・応募資格 農業の担い手であつて中学校を卒業（卒業見込みも含む）した十八歳未

幕別町から火災を追放

—幕別ライオンズクラブ—

53本の消火器を町に贈る

暖房器具を本格的に使用する季節となりましたが、ことしは例年になく火災の発生が多く、十月末現在で十三件、二千三百万円もの被害を出し、しかも三人もの焼死者を出しております。

幕別町から火災を追放しようと、このほど家庭用消火器五十三本（時価二十万四千四百円）を町および町消防署に寄贈しました。

石村会長は、寄贈式の席上、「消火器を備えることの出来ない家庭や辺地の農家に配分していただき運動を展開し、幕別町から火災を

幕別ライオンズクラブ（石村元春会長）では、幕別町が十勝管内で最も火災が多いのを心配、この

また、これを機に一世帯一消火器の準備を促すこと、

追放してほしい」と語りました。

なお、積雪時には火災が発生し消防車が出動しても、雪のため現場に到着した時には、すでに全焼していた、という例が多く、町消防署では、初期消火に有効な消火器を一世帯一本を備えてほしいと現在、消火器の斡旋をしております。

写真は幕別ライオンズクラブの消火器寄贈式の模様



小尾寅平（社協理事、国保委員）
立派な母としての功労者
石原久恵（札内）、渡部利子（宝町）、田村スギ（札内）、設楽花（日新）

■社会福祉協議会々々長表彰
永年にわたる福祉功労者

大石忠夫（社協理事）、近江幸雄（民生児童委員）、角田政平（社協理事）

■共同募金会幕別分会長表彰
本町一、錦町一、中糠内、本町二、糠内市街

■日赤幕別分区長感謝状
平井幸男（錦町）、山田伊造（相川）

■社会福祉協議会長感謝状
中島国男（本町）、笹島喜八郎（札内）、一宮龍熊（本町）、佐藤一馬（札内）、山田定雄（五位）

石田勇（本町）、池浦光男（札内）
高橋良平（本町）

「立派な母」などを表彰

町社会福祉大会を開催



昭和四十六年度町社会福祉大会が、社会福祉事業法施行二十周年

を記念して十一月二十日午前十時から町民会館で開催されました。

まず、社会福祉関係物故者に黙祷をささげたのち、藤平社会福祉協議会々々長の式辞、中島町長の挨拶があつたのち、永年にわたる福祉功労者、立派な母などに表彰状感謝状を贈り、その労をねぎらいました。

このあと、道社会福祉協議会常務理事の岡武夫さんの講演「これからの老人福祉をどうすすめるか」を聞き、全体会議では老人福祉のあり方について、児童福祉の進め方についてをテーマに、塚本清吉さん（相川）、一宮 四枝さん………写真は、立派な母の表彰風景

（本町）が発表、参加者一同で、これらの問題について話しあいをおこないました。

なお、表彰された方々は次の通りです。

■町長表彰

永年にわたる福祉功労者

谷地田さん晴れの全国表彰

永年にわたる社会福祉の向上に努力

軍岡の谷地田豊四郎さんが、去る十一月十日に東京で開催された社会福祉法施行二十周年記念全国大会の席上、表彰されました。谷地田さんは、本町の社会福祉協議会が組織されて以来、今日まで二十年間の永きにわたって、社

